

# NPO法人みのお山麓保全委員会 主催講座

2023年8月5日（土）

@箕面市文化・交流センター

## 【テーマ】

気持ちよくボランティア活動するための  
の備えやコツ



社会福祉法人 大阪ボランティア協会

常任運営委員、災害支援委員長

ボランティアコーディネーター

森本 聡

## 【テーマ】

気持ちよくボランティア活動するための  
の備えやコツ

## 【メニュー】

- ▼そもそもボランティアって？（おさらい）
- ▼リスクと向き合った活動の事例（悩みや工夫）
- ▼リスクへの備え（1）～ボランティア保険
- ▼リスクへの備え（2）～団体運営

そもそも  
ボランティアって？  
(おさらい)

# ボランティア活動を定義づける 3つのキーワード

- ① 「自発性」 **やる気**
- ② 「社会性」 **世直し**  
(公益性・公共性)
- ③ 「無償性」 **手弁当**

# 「自発性」～ボランティアは私・発

- 語源はラテン語の  
**Voluntas** (ウォルンタス)  
= 自由意志  
**Volo** (ウォロ)  
= 喜んで～する



- ・ 「奉仕活動」との違い
- ・ 言われなくてもする / 言われても納得できなければしない
- ・ 「ほっとかれへん」という気持ち
- ・ **自由**で**多彩**、**柔軟**に**チャレンジ**できる

オックスフォード大辞典

【volunteer】 17世紀初出

- ① 自警団
- ② 志願兵・義勇兵
- ③ 自生植物
- ④ 社会問題解決のために  
無償で働く一般市民

# 「社会性」～開いてつながる

- 個人の「私益」や仲間内の「共益」のための活動も、社会に**開く**と「公益」になる！

→世のため、人のため、地域のため、守りたいものがあるからがんばれる。

- 「**出合い**」が「出会い」を呼ぶ**連鎖反応**。

→ひとりでは大きすぎる問題でも、なかまがいれば解決できるかもしれない。

→大きな社会制度の構築や改善につながることも…

NPO法の制定、地下鉄にエレベーターの設置、などなど

「微力」だが「無力」ではない

# 「無償性」～だから得られるもの

- 対価や報酬、見返りを目的としない活動

(交通費や食費などの実費支給は「無償」の範囲内)

→自らお金を出してでもやりたい活動かどうか  
お金をもらってもやりたくないことはしない

- 対価を求めないから「**ともにある**」**関係**を築きやすい

- 金銭的評価（**価格づけ**）を超える価値

ひとりひとりの想いは**プライスレス**

- 「**私欲がない**」**行為**への人々の共感



ただ働きの奉仕者ではない

# ボランティアの原動力は・・・

- **「共感」** という連結器  
ほっとかれへん！ それわかるー。
- **「ありがとう」** 「また来てな」の持つ力  
「人は必要とされることを必要とする」 (エリック・エリクソン)
- **「自己の成長」** が次の活動へ向かわせる
  - × 「やる気」 → 「できる」
  - 「できた」 → 「やる気」



## 創造性（開拓性・先駆性）

- 前例にとらわれない
- 目先の損得にとらわれない
- なければ自分たちで作ります



**多種多様なボランティア活動  
社会や制度を動かす原動力にも**

# ボランティアの強みと弱み

## 【強み】

- ・ 自発性→主体的に参加すると、状況から逃げない  
機動的、すぐに動く
- ・ 無償性→金銭的対価を超えた活動の展開  
多彩さ、個別対応の容易さ・温かさ・柔軟性

## 【弱み】

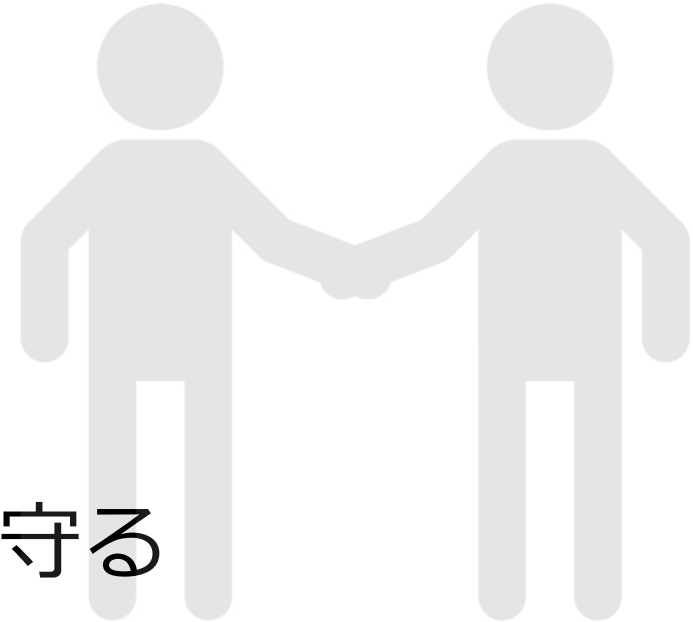
- ・ 自発性は揮発性（ぱっと消える）
- ・ 好きなことしかしない
- ・ 全体が見えないままに動く（動ける）
- ・ 時に、独りよがりや自己満足の落とし穴
- ・ ここまですればよいという基準がなく頑張り過ぎる

# 気持ちよく活動するコツ（1）

## 対等な立場で

## ー ボランティア仲間とも相手とも

- ・ 「してあげる」の固定観念を外す  
**for** ～ から **with** ～ へ
- ・ 「支え合い」は協同作業、  
一緒にしよう！
- ・ 相手の自立をさまたげない  
→自分で気づくことを見守る



# 気持ちよく活動するコツ（2）

## 活動は余裕のある範囲で ～燃え尽き症候群を防ぐ

- ・がんばる「制限」がないから疲れてしまう  
メリハリつけて休むときは休む
- ・それぞれのペースを尊重して、  
一律でなく、  
お互いに補う仲間のよさ



# リスクと向き合った活動 の事例（悩みや工夫）

# コロナ禍中のボランティア活動

## ボランティア活動は“不要不急”？

＜活動希望者向け＞

2020年8月5日 大阪ボランティア協  
「with コロナ」のボランティア活動について  
活動するために大切にしたいこと～

＜受け入れ団体向け＞

2020年8月5日 大阪ボランティア協会発行  
新型コロナウイルス影響下でのボランティア受け入れのポイント  
1. まずはお互いの安心・安全を守りま

1. まずはお互いの安心・安全を守り合う視点を
2. 今一度、ボランティアの意味や役割を確認しよう  
「なぜやるのか、誰のためにやるのか」
3. 会えなくても開きあえる、つながれる工夫を  
ボランティアは共同作業。立場の違う人が一緒に  
考えればアイデアは無限
4. オリエンテーション、活動中のフォロー、活動後の振り返り、活動の評価、をしっかりと丁寧に

# コロナ禍中のボランティア活動

## <実践例>

- 孤立・孤独が心配な方へ電話で声かけ
- 高齢者宅へ届ける手紙ボランティア
- 布マスクの作製、家庭用ゴミ袋で簡易防護ガウン作り
- 子ども食堂の代わりに弁当や食材の配布
- オンラインカフェ
- 入院中の子どもとオンラインで交流
- YouTube、SNSでの発信
- 中学生による高齢者向けLINE教室
- 医療者への感謝メッセージ

：

# 被災地でのブルーシート張り問題

【熊本地震（2016年）】；屋根被害が多数発生

- ▼瓦屋根を扱う業者が極端に減少→修理待ちが長期化  
放置していると雨漏りによるカビ発生等で健康被害の恐れ
- ▼応急措置として自力で屋根にシート張り
- ▼高齢者世帯など、経済的に業者に頼むことが難しく自力対応も困難な人が、災害ボランティアセンターに応援依頼
- ▼「ボランティアに高所作業はさせられない」



災害支援NPOが依頼を受けることを決断、高所作業に慣れたボランティアを中心に支援活動開始



# 被災地でのブルーシート張り問題

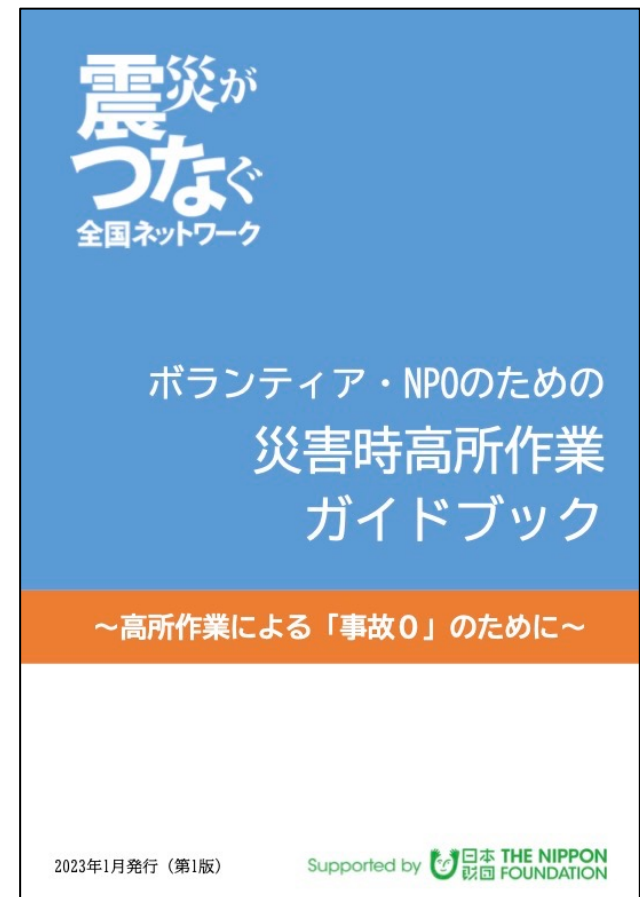
【大阪北部地震・台風21号（2018年）】以降

- ▼ボランティアによるシート張り活動が広がり、試行錯誤の結果としてノウハウを蓄積。
- ▼災害支援NPOが被災地の住民向けや、消防署員・自衛隊員向けに技術講習・安全講習を行っている。
- ▼災害支援団体の全国ネットワークではガイドブック等を作成。
- ▼災害支援NPOと行政の間で連携協定を締結するケースも増加。

ボランティアがすべきことか？との葛藤



「ほっとかれへん」という気持ち



# 他セクターとの協働

セクター	行動原理	目標
行政（政府）	公平・平等	「全体」への奉仕、福利の向上
営利企業	交換原理（ギブ&テイク、等価交換）	営利追求
民間非営利 （ボランティア・NPO）	共感	それぞれの「ミッション」「夢」の実現

現代社会は単一セクターだけでは解決できない問題が山積み  
→互いの強み・弱み、違いを理解して、**連携・協働**する必要

- ボランティアは財政削減のための下請けではない
- ボランティアは「**権利擁護**」はできても「**権利保障**」はできない

# リスクへの備え（1） ～ ボランティア保険 ～

# ボランティア保険の歴史

▼1976年8月：津市の子ども会活動中に水死事故

「**津市子ども会裁判**」=ボランティアに対する刑事罰ということで議論を呼び、「ボランティア保険」創設の契機となる

▼1977年4月：「**ボランティア保険**」制度発足（全国社会福祉協議会）

▼1995年1月：**阪神淡路大震災** 「ボランティア元年」

▼1997年1月：**ナホトカ号重油流出事故**（島根県隠岐島沖の日本海）

のべ30万人のボランティアが厳冬期に重油回収の活動、5名が過労などで亡くなるという二次被害が発生

「ボランティア活動保険」への加入を積極的に勧めるきっかけとなる

# 社協のボランティア保険

ボランティア活動中の事故に対して：  
**傷害保険**と**損害賠償責任保険**がセットにされたもの

制度運営 = 各都道府県社会福祉協議会など

代理店・引受保険会社 = 都道府県により異なる

受付窓口 = 各市町村の社会福祉協議会

\*いずれも「**日本国内におけるボランティア活動**」が対象で内容は同じ

## 【保険の種類】

- ボランティア活動保険
- ボランティア・市民活動行事保険
- 非営利・有償活動団体保険
- 移送中事故傷害保険

# 社協のボランティア保険の内容

種類	ボランティア活動保険			ボランティア・市民活動行事保険		
補償概要	ボランティア活動中の傷害補償、賠償責任補償			社協や市民活動団体が主催者となる <b>行事活動中</b> の、参加者のケガに対する傷害補償、主催者の賠償責任補償		
対象活動・行事	① <b>自発的な意思</b> により <b>他人や社会に貢献</b> することを目的とし、 <b>日本国内</b> で取り込まれる活動 ②所属団体の会則に則り企画立案された活動、社協へ届け出たり社協の委嘱を受けた活動 ③ <b>無償</b> の活動			①加入資格を満たしたボランティア・市民活動団体が主催する行事 ②団体の自助活動（懇親会等）も対象		
対象外	自助活動、野焼きまたは山焼きを行う森林ボランティア、チェーンソーを使う森林ボランティア など			学校管理下の活動（クラブ活動、課外活動）、一般の営利企業が実施する行事、加入者の本業		
保険期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで			行事期間中		
プラン・型	Aプラン	Bプラン	Cプラン	I型	II型	III型
内容	傷害補償の保険金額の違い		天災特約 (地震・噴火・津波)	行事区分 A~C	宿泊を伴う 行事	参加者が事前に確定できない1日行事
保険料 (1人)	300円	500円	600円	A = 30円 B = 134円 C = 262円	1泊2日 = 229円 2泊3日 = 281円 : 6泊7日 = 358円	30円

# 社協以外のボランティア保険

保険の例	制度運営	備考
森林ボランティア保険	NPO法人 日本森林ボランティア協会	森林や野外で活動する団体が対象
グリーンボランティア保険	NPO法人 森づくりフォーラム	同上
しえんのおまもり	一般社団法人FUKKO DESIGN	災害ボランティアを対象
ボランティア活動共済	JA共済	団体契約 農業者以外も利用可
:	:	:

# リスクへの備え（２） ～ 団体運営 ～

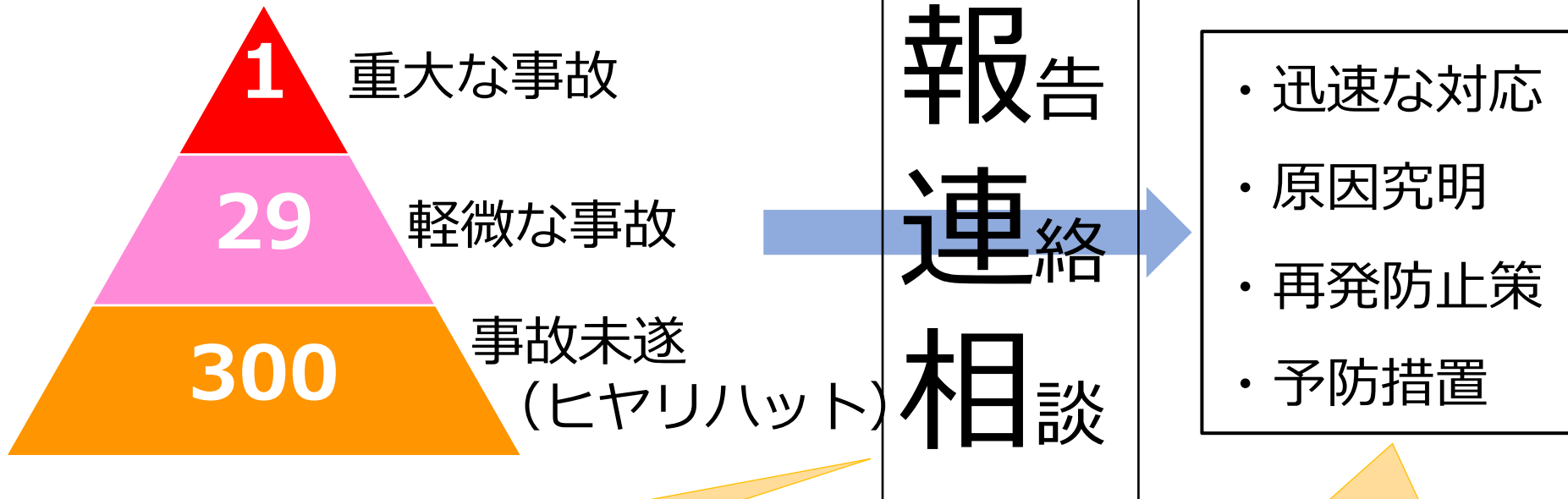


# 団体が直面する様々なリスク

- 人身事故、物損事故
- 疾病（食中毒、熱中症、感染症・・・）
- 自然災害（地震、津波、水害、火山噴火・・・）
  
- 犯罪（盗難、傷害・・・）
- ハラスメント
- コンプライアンス（法令違反、反社勢力・・・）
- 個人情報流出
- SNS炎上
  
- 団体運営（財政危機、後継者不足・・・）
- 
- 
-

# リスクの管理

## ハインリッヒの法則



組織内での情報共有が重要  
→風通しのよい組織

### 【対策】

- × 精神論よる人為的エラー対策
- 仕組み作り（ルール作り、マニュアル化）、その上での教育・訓練

# 風通しのよい組織にするには

Google 「プロジェクトアリストテレス」



社内の成果を出しているチームと  
出していないチームの差を分析

一番の要因は「**心理的安全性**」

心理的安全性とは、

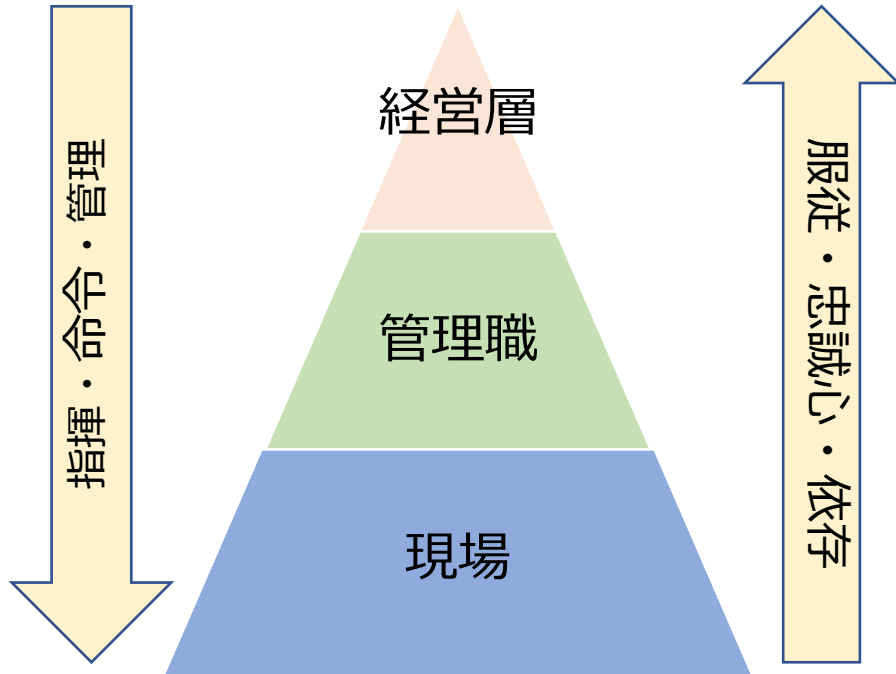
**「チームの誰もが、非難される不安を感じることなく、  
自分の考えや気持ちを率直に発言できる状態」**

- ・ チーム内のコミュニケーションが密になる
- ・ 多様なアイデアや意見が出やすくなる
- ・ ストレスが減り、やりがいが増える
- ・ 1人ひとりの責任感がアップする

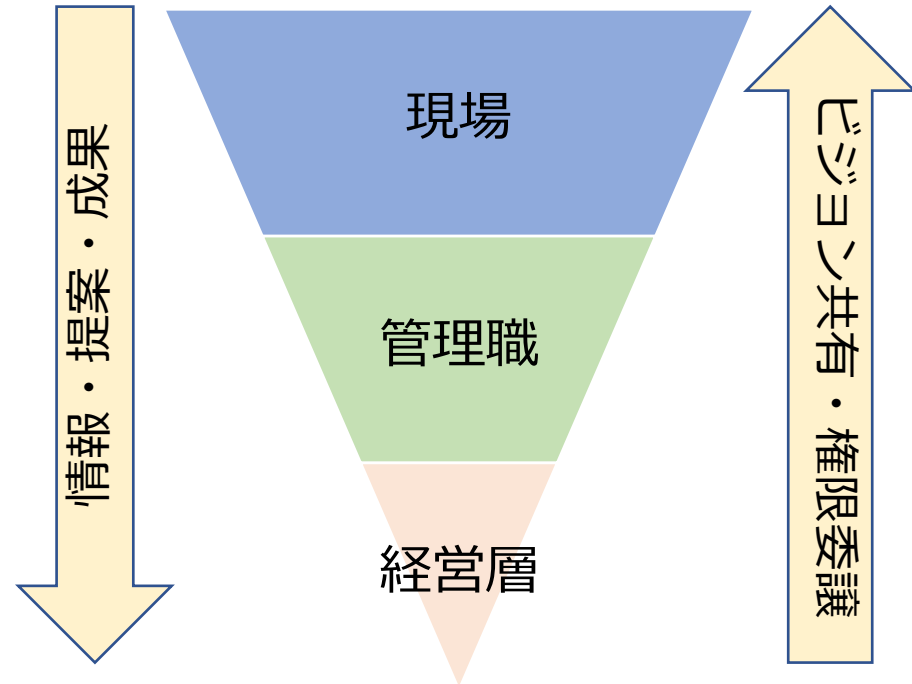
：

# 組織のリーダー像

支配型リーダー



サーバント・リーダー



- ① 傾聴
- ② 共感
- ③ 癒し
- ④ 気づき
- ⑤ 説得

- ⑥ 概念化
- ⑦ 先見力・予見力
- ⑧ 執事役
- ⑨ 人々の成長に関わる
- ⑩ コミュニティづくり

“ドクター長浜のソーシャルマネジメントの処方箋・第16回”「ウォロ」No.534 (2020年12月/2021年1月号) p.16  
をもとに作図+追記

# 終わりに：今日お伝えしたかったこと

## ボランティア活動で大切にしたいこと

- ・ひとりひとりの思い
- ・お互いへの理解と尊重

## リスクへの向き合い方

- ・なんでも禁止、中止（思考停止）ではなく  
創意工夫を！
- ・そのための密なコミュニケーション

**「ボランティアは民主主義の学校」**